

○第206回動物用医薬品専門調査会議事概要メモ（非公開）

日時：平成29年10月11日（水） 15：15～16：47

議事概要

（1）動物用医薬品（ペグボビグラスチムを有効成分とする牛の免疫賦活剤（イムレスター））
の食品健康影響評価について

審議の結果、「本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられる。」とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

（2）動物用医薬品（モネパンテル）の食品健康影響評価について

審議の結果、継続審議となった。

* 1 ペグボビグラスチムを有効成分とする牛の免疫賦活剤（イムレスター）：
免疫賦活剤で、周産期乳牛の臨床型乳房炎の発症率の低下に用いられます。

* 2 モネパンテル：
羊等に使用される線虫駆除剤で、インポートトレランス申請に伴う残留基準の設定に係る評価が厚生労働省から要請されています。